

放課後等デイサービス事業所における自己評価表

公表:令和 6年 3月31日

事業所名 多機能型事業所 いくま

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	5	0	学校の長期休暇時などは、利用者数が多く狭く感じられますが、その都度、環境設定を行い安全に過ごせるよう配慮しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	7	0	利用者数に対して必要な職員を配置しておりますが、職員に休みが生じる場合などには、活動内容を変更するなどして安全面を優先に対応しています。
	3	生活空間は、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	5	2	・リラックスして過ごせる空間を提供できるよう、マットやクッションチェアなどを配置しある程度の広さを確保しています。 ・動きのある利用者の方には、時に危険と思われる場面もあり、行動に制限が生じてしまうことがあるためベビーサークルを配置した環境を設けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	4	3	・感染防止のため手洗い、換気、消毒、利用者への対応には、手袋やエプロン、ガウン等を適宜着用しています。 ・マットに横になっている利用者の方と床との距離が近く、顔の近くでほりか舞いや課題を感じていますので職員間で話し合い、改善に向けて取り組んでいきます。
業務改善	5	業務改善を進めるために、広く職員が参画しているか	0	8	2	これまで決定事項の連絡で終えることも多くありましたが、先月からは、毎月1回支援に関わる職員が全員参加してより多くの意見を出し合えて周知できる機会となるよう改善しました。
	6	保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	5	1	年に1回のアンケートをお配りして評価をお願いしています。また、送迎時など直接要望等をお聞きする場合もありますので、そうした場合はその都度対応しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0	ホームページにて公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	10	現在、外部評価は実施していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	4	1	外部研修会やセンター全体での研修会に参加して資質向上に努めていますが、より業務の専門性に応じた研修への参加やそこで得たことを職員間で情報共有していけるよう改善していきたいとも思っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	8	2	0	面談の場や入退園時の申し送りで家庭での様子を把握したり、そこで得た要望やニーズから新たな目標を設定し支援計画に反映しています。
	11	子どもの状況を把握するために、標準化された個人調査票などのアセスメントツールを使用しているか	4	6	0	利用開始時に使用しているものはあります。その後は利用時の記録等により状況把握しています。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5	5	0	行った支援について評価、見直しを行い新たな支援(計画)につなげていくようにしています。利用者の方それぞれにあった支援が提供できるよう努めています。
	13	活動カリキュラムの立案をチームで行っているか	4	3	3	担当者が中心となって立案しています。また、活動に参加する職員からの意見も柔軟に取り入れながら行っています。
	14	活動カリキュラムが固定化しないよう工夫しているか	4	6	0	大好きな活動(遊び)として定番化しているものはありますが、四季折々の季節感のある活動や行事、特別活動を設けるなどして非日常の楽しさも提供できるよう工夫しています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	6	3	1	評価をもとにそれぞれの発達段階を把握して、そこに応じた課題を設定することで個別支援計画を作成しています。スタッフがマンツーマンで配置できる場合もあるため、集団活動の中でも個々の課題に沿った支援が展開できています。
	16	支援開始前には職員間でミーティングを行い、その日行われる支援の内容や役割分担等について確認しているか	1	5	4	朝のミーティング時に利用者の方についての申し送り事項(注意事項)について確認をしています。役割分担等は、配置表を作成して行っています。役割分担表はより細かくした方が良いのではないかと意見もあるので改善に努めます。
	17	支援終了後には、職員間で必ず話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	0	3	7	活動の様子を伝えあうことはあります。そうして共通した対応ができるように努めていますが、これまでは、気づいたことがあった場合に行っており毎回必ず行っていないため今後は、振り返りの場として定着するよう改善していきます。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	4	0	日々の活動や生活の様子を記録しています。定期的に行う評価の際は、これを参考にしています。この評価をもとにその後の計画書(支援目標)を作成しています。
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	2	0	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	5	1	主に児童発達支援管理責任者や担当者が出席しています。医療的ケアついての場合などは、看護師が出席する場合もあります。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	4	0	・毎月学校との連絡会があり行事などの連絡を受けています。 ・下校時に体調をはじめとした様子の申し送りを受けて把握しています。	

22	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	0	・年度末を目的に、就学先の学校や、福祉サービスの事業所、相談支援専門員をまじえて、就学年度からの生活全般において確認し合い共通理解を図っています。
23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	1	0	個別の問い合わせについては、保護者の承諾を得た上で情報提供を行っています。この他、移行支援会議が招集された際に情報提供を行っています。
24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	6	3	相談支援専門員の尽力を得て、当事業所の利用者が他の事業所と併用している場合、見学の場を得たり、意見交換や情報共有をすることができています。
25	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	3	7	現在、協議会への参加はしていません。
26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	2	0	入退園の際、口頭で伝えあったり、連絡ノートを活用して伝えあっています。
27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0	0	10	ペアレント・トレーニングとしては、実施していません。ただし、子供との関わり方で有効な支援方法など気付いたことなどあれば、その都度伝えるようにしています。また、より専門的な観点からハビリの担当者につなぐ場合もあります。
28	支援内容、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	5	0	契約時やその他相談があればその都度丁寧な説明を心がけています。また、改めてお問い合わせをいただければ、その都度対応しています。
29	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	10	0	0	
30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2	0	面談を経て内容を把握した上で必要な助言、また、専門の訓練士への橋渡しを行う等の対応をしています。
31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	7	保護者会は開催しておりませんが、ご家族の方も一緒に楽しめる行事にお誘いしています。一緒に楽しんでいただきながらご家族同士の交流の場にしていただければと思います。
32	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	5	0	当事業所内外に苦情受付の窓口を設けています。また、事業所内には、意見箱を設置しています。寄せられた苦情については、センター内の委員会を通して迅速に対応し結果は、センター内にも掲示しています。こうした苦情に関する説明を契約時に行っています。
33	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	
34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1	0	
35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0	
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	10	事業所としては行っていませんが、センターとの合同行事に参加していただき交流を図っています。 ※感染対策から今年度は、開催していません。
37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2	5	事業所を含むセンター全体として策定した各種のマニュアルは、契約時に説明する重要事項に含まれています。その際に説明、確認していただきますが、それ以降はお知らせする機会を設けていないため保護者の方へ周知という面では十分でないかも知れません。訓練実施の際、お知らせするなどの改善に努めます。
38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	6	定期的にセンター全体の避難訓練に参加していますが、頻度は多くありません。
39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	1	0	利用開始時の聞き取りや新たなケアや薬が加わった場合などにカードックスを作成・更新して把握、確認しています。
40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	1	0	
41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	4	0	事業所だけでなく、センター全体の報告を確認することで注意喚起をしています。
42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	1	研修会に参加しています。得た情報や知識を業務に活かせるよう努めます。
43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	9	1	0	やむを得ない場合に行う可能性のある身体拘束事項については、別書類によってあらかじめ保護者に説明し承諾を得ています。承諾事項以外の拘束が生じた場合は、拘束内容を保護者に説明すると共に記録にのこします。